

令和 5 年 2 月 15 日

PTA 会員各位

杉並総合高等学校 PTA

会長 成見 敦子

令和 4 年度 PTA 臨時総会(書類審議)のご案内

三寒四温の候、会員の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素は杉並総合高等学校 PTA の活動に、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

この度、令和 4 年度杉並総合高等学校 PTA では、PTA 規約の一部改定案が学校連絡会にて議決されました。規約の一部改定は、今年度中に成立を目指しており、本来であれば臨時総会を開催するところですが、会員の皆様には今般の状況を鑑み書面議決としてお諮りいたします。

今後の PTA 活動の見直しを念頭に置き、以下の通りの規約改定を起案しました。細則については学校連絡会の承認をもって改定の決議が行われますが、会費の金額については規約第 7 章第 19 条にのっとり、総会にて議決を求めるものです。

議案書(別紙①)をよくお読みいただき、書面議決書(別紙②)を令和 5 年 2 月 28 日までにご提出ください(提出は議決書のみ。議決書を紛失された方はお問い合わせください)。期日までにご提出がない場合は、会長一任とする事をご了承ください。

本件につきましてのご質問等お問い合わせは sugisoupta@gmail.com までお願いします。ご多忙の折とは存じますが、何卒ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

日程:令和 5 年 2 月 15 日～令和 5 年 2 月 28 日(配布日から回答期日まで)

内容:議案 3 件についての審議

方法:議案および議決書を配布。

会員の過半数の議決権行使で総会成立。

審議事項の議決は回答数の過半数の同意で承認とする。

※回答がない場合は議決権の放棄とみなします。

公示:議決結果は令和 5 年 3 月 1 日以降、マメールにて配信。

※試験期間に重なる為、公示まで少し時間が掛かる可能性があります。

※マメールに未登録の方は杉総 PTA までお問い合わせください。

議案書

第 1 号議案 第 6 章 第 16 条についての改定

現行:学校連絡会は会長が招集し、原則として毎月開催して次の事項を審議する。

改定案:原則として年間 4 回以上開催して次の事項を審議する。

改定理由:現状に則した表記への変更。(R3 年度・R4 年度は年間 4 回開催)

第 2 号議案 第 6 章 第 17 条 3 についての改定

現行:文化国際交流委員会は本会の講演会・講習会等の開催のほか、姉妹校交流および
会員・生徒に関する国際交流事業を行う。

改定案:文化国際交流委員会は、会員・生徒に関する文化的事業および国際交流事業の
サポート、ボランティア活動を行う。

改定理由:現状に則した表記への変更。

第 2 号議案についての補足

※講演会・講習会について

感染症流行の影響でここ数年は実施されていない。過去資料では講演会・講習会は「主催」ではなく
学校主催の「手伝い」をしていた。現行文章のように「開催」はしていない。

※姉妹校交流について

感染症流行に伴い、姉妹校来校について不確定となった事、また同じ理由から歓迎会やホームステイ
先の確保等の業務が不確定となった事から、業務についての引き継ぎが途絶えやすくなってしまった。
その為に今後は、引き継ぎがなくても判断・指示の出しやすい本部が業務主導権を引き取り、文化国
際交流委員会はその支援を行うものと業務内容を変更した。また、現在の活動の主軸は、学用品の寄
付等ボランティア活動である事を鑑み、その文言を記載する。

※活動内容の見直しや業務移行については、令和 4 年度文化国際交流委員会のメンバーにも検討等の
協力を依頼し、実施した。

第3号議案 PTA細則 第3条 PTA会費 2

現行:本会の教職員会員の会費は納入しない。

改定案:本会の教職員会員の会費は年額1000円を一括納入とする。

改定理由:感染症流行に伴う活動内容の縮小等から改定されていたものを、活動内容の復帰と共に
集金額も元に戻す。

第3号議案についての補足

※感染症流行との関係

感染症流行以降、活動内容の縮小等から会費の減額を実施しました。同時に積立金についての見直しも実施され、現在は予算の不足分を解凍した積立金(積み立て不要と判断されたもの)から補填している状態です。

感染症対策についてはまだ予断を許さぬ状況ではありますが、学校行事の復活に併せ、活動内容・規模を戻していく方針があり、その為には相応の予算が必要になってきます。

補填が可能となるのは数年程度の見込みである為、教職員会員からの徴収を再開によって、本来の運用力の回復を目指すものであります。

※物価の上昇

昨今の物価上昇に伴い、節約が困難な状況が続いています。情報を集め、早期注文による割引や業者に協力してもらう等工夫も重ねていますが、その結果として一部の会員に負荷がかかっているのも事実です。

以上